

西国街道を 歩こう (海田編)

企画課

☎823-9212 FAX823-9203



▲三宅家住宅（国の有形登録文化財）の前を歩く参加者の皆さん

2月25日に、海田町と安芸区合同主催の「西国街道を歩こう（海田編）」が開催され、参加者・スタッフら56人が歩きました。当日は、3組に分かれ、約3時間30分かけて10箇所以上の地点を巡りました。

出発地点は、安芸中野駅近くのの中野第2公園。準備体操の後、ガイドの皆さんから海田町や西国街道に関する話を聞いて、いざ出発！

巡った箇所は、三十六歌仙の絵馬が奉納されている熊野神社や広島県指定重要文化財の旧千葉家住宅、国の有形登録文化財である三宅家住宅など。

熊野神社では、「ここには広島藩の御用絵師、山野峻峰斎の筆による三十六歌仙絵馬が奉納されていて、今も幣殿に掲げられているんですよ」という話を聞き、「三宅家住宅前では、街道を振り返り、「道は直線ではなく、一定距離ごとに力強くしているんですよ。一説には、参勤交代の際に、街道の人々が視界から早く隠れるようにとの工夫だと言われています」などの話を聞きました。

ガイドの皆さんの話を聞いて「そつなんだ」「知らなかったな」とうなずきながら聞いたり、疑問に感じたことを質問する参加者の皆さんの姿が見られました。

ゴールは、海田市駅。西国街道を歩いて、むかしの人の暮らしや気持ちを感じることができた一時でした。



ふるさと館の裏手にある、樹齢数百年の「海田観音免のクスノキ」を仰ぎ見る皆さん

「昔はこの道で流鏝馬が行われていたんですよ」など、ガイドの人の話を聞く皆さん（場所は春日神社内）



江戸時代、瀬野川沿いに植えられた「出迎の松」を眺める皆さん

